

寺報

龍正寺

日なた 104号

平成二十九年

一月水星丁酉

道守心きの

火をともしう

日延



<平成29年 1月>

宝龍会
護持会

＝ 往 職 一 言 ＝

あけまして、おめでとうございます。

平成29 - 白永星丁酉年を迎えました。

皆様方は、どのような気持で新しい年を迎えられましたか。

「丁」のとは、人がおこす火を意味します。

「酉」とりは、きめ細やかな気配りが出来る情緒を表します。

酒の市、縁起物の熊手を売る市が開かれます。これは「取(酉)込(市)」語呂合せから出来ているそうです。

本年は、自分自身で火をおこし、物事を成長させ、何事にも立ち向い、向上していき、きめ細やかな気配りが出来れば、お互いの絆が出来ると思います。

鳥は左右の翼で大空を羽ばたきます、家族みんなで力を合わせれば、不可能と思われている事も可能となり、大きな喜びに

つながるかもしれません。

平成29年は益々向上の年です。

信心の火をおこし、お題目を唱え幸せな一年に存っていただける事をお祈り申し上げます。

寺報日なたは、皆様方の心の中に一つでも届いて、頂ければ、思い書きつづけていきたいと願っております。

本年も寺報日なたをよろしくお願ひします。

合掌

♪ 息子からのプレゼント ♪

新年明けまして おめでとう ございます。

新しい年を迎え、気持ちも新しくしてスタートしたいです。

どんな年にしたいか、考えた時 息子の姿に影響を受けました。

今年 成人式を迎える息子は 昨春、進学を機に突然、バイオリンを始めました。「管弦楽部に入部決めたで〜。」と聞いた時はびっくりでした。バイオリンなんて 触った事もないのに 大丈夫かな、と思いました。

夏休みに帰省した時、初めて息子のバイオリンの音を聞かせてもらいました。

たどたどしい音階と 夏合宿の練習の曲の一部でした。

「難しくて出来ないところは エアー(弾いているふり)をするんやと」

と言って ギョギョ 楽しそうに弾いていました。

「内を叩け、そうすれば内は開かれるであろう。」と言いますか。

初心者の子を迎えてくれた 音部の仲間や 指導して下さる先輩のいて下さる事が ありがたい と思いましたし、私からしたら 無謀とも思える 息子の 勇気ある 決断を あっぱれ回" と思いました。

今春、大学の卒業式と 入学式でのステージデビューも決まった
そう、現在 練習に励んでいます。

昨夏 よりも 少し上達した音を聴きながら 私も元気をもらった
気がします。

私は今年、誕生日で 満50才。

体の衰えも じわり じわりと 感じるようになりました。

心までは 老けこまないよう 前向きな 気持ちで 過ごせるよう
心がけたいです。

「六十の手習い」 学問や 習い事に 年齢制限などは ない。

私も この 精神で 今年も 張り切って 行きたい と思います。

そして こんな 気持ちに させてくれた 息子に ありがとう、と
言いたいです。



～ チャンスをつかもう ～



新春のお慶びを申し上げます。

今年は一白水屋 山下火丁酉です。

山の麓で静かに燃える火山から出た火の意味。または無意味に燃えさかる火を意味してつけられた呼称たそうです。

昨年は国内外で思わぬ出来事が多い一年でした。何か不安も多く残したままで今年が始まりました。しかし、昨年の不安な出来事を思い心をみたらより、今年を各々が自立した年を迎える事が必要な時代となったのでは無いでしょうか。

今年の燃える火を向上できる良き炎にしたいですね。その為には“決して他力本願にならない”、“そして”目標を持って生活していく”、目標を達成するには、困難も起こる事でしょう。しかし、「初禱抄」に“法華經の行者は信心に退轉なく、身に詐親無く、一切法華經に其の身を任せ、金言の如く修行せば、たしかに後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして、勝妙の大果報を得、廣宣流布の

大願をも成就すべきなり、とあります。

心が折れそうな時、辛くて逃げたくたくなる時、心から
南無妙法蓮華經と唱え精進しましょう。

必ず幸せを気づかせて頂ける。困難ではなく、幸せに
なるチャンスの導ひきも頂けます。

今年も幸せ・喜びを感じる事が出来ますように、決して無意
味な燃えこがる炎ではなく、偉せで横溢さぬ炎で日々を
過しましょう。

今年も寺報「日なた」をよろしくお願ひします。

「心の師とはなるも 心を師とせざれ」

自分の心をコントロールする。日蓮大聖人御遺文
兄弟抄の中の一文です。

「自分の心を統率する先生にならなければ
なりません、決して移り変わる心を自分の先生
として従ってはいけません」

自分の心をコントロールするのは自分自身である。
人の心は絶えず変化しています。

周囲の環境に振り回され定まらない。
そのために何かを決断しようとも揺れ動かく心が
決めることですから、いつくつかえずか自分さえ
わかりません。

何事もぶれない自分自身を持つことが大切です。
今年は無事です。鳥の両翼で羽ばたくが

ごとく、片方が欠けても飛ぶことができません。

互いに助け合う存在である。

人との関係も同じ事である。

丁酉の年に変化に立ち向い、お題目を唱えることで、信バの火をおこし、人との絆を深める1年にしたいと思っております。

< 1月行事内容 >

1月1日(日)	5:00~	元旦祝祷会
13日(金)	10:00~	初宗祖日蓮聖人報恩会
18日(水)	10:00~	初鬼子母尊神) 祈禱会 七面大明神
29日(日)	13:00~	節分・星祭り祈禱会

< 住職の予定 >

1月20日(金) 14:00~ 潮師法縁新年会
東京谷中瑞輪寺

< 1月の予定 >

1月3日(火)	13:00~	祭壇片付け
6日(金)	13:00~	おもち下げ" 例祭準備
7日(土)	各々の時間で"	清掃・準備
↓	↓	↓
12日(木)		
13日(金)	法要後	片付け・準備
14日(土)	各々の時間で"	清掃・準備
↓	↓	↓
17日(火)		
18日(水)	法要後	片付け・準備
19日(木)	各々の時間で"	清掃・準備
↓	↓	↓
27日(金)		
28日(土)	9:00~	飾り付け